

The 健康応援隊!

がん検診

8月に、国立がん研究センターが、2009年～2010年にがんを診断された患者の5年生存率（がんを診断された人が5年後に生存している割合）が、全てのがんを合わせて、66・1%だったと公表しました。部位別で見ると、生存率には大きく差があり、これは治療の難しさなどの理由があげられます。

がんの種類	病気(ステージ)				全体
	1期	2期	3期	4期	
乳房	99.8	95.9	79.9	37.2	92.5
子宮体	96.8	89.9	74.0	21.3	82.1
子宮頸	95.3	78.7	61.4	25.2	75.3
大腸	95.4	88.1	76.5	18.7	72.9
胃	94.6	68.5	45.1	9.0	71.6
肺	81.2	46.3	22.3	5.1	40.6
全部位	-	-	-	-	66.1

※他の種類のがんや、がん診療連携拠点病院等全体、都道府県別、などの結果を知りたい場合は国立がん研究センターのホームページをご覧ください。

現在、日本人は、一生のうち、2人に1人は何らかのがんにかかるといわれています。しかし、医療の発展により、一部のがんでは早期発見と早期治療が可能となってきました。がん検診はこうした医療技術に基づき、がんの死亡率を減少させることができる確実な方法です。しかし、ここで注意しなければならぬことは、が

ん検診は「がんがあるか、ないか」ということが判明するまでのすべての過程を指す、ということですが、もし、精密検査が必要という結果が出たにも関わらず放置した場合は、検診の意味がなくなってしまう。現在、科学的な方法によって、がん死亡率の減少が認められ、厚生労働省の「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」に定められた検診は、胃がん・子宮頸がん・肺がん・乳がん・大腸がんの5つです。町でも、以上5つのがん検診を行っていただきます。まだ受けていない方、日程が合わず受診できなかった方はこの機会にぜひご検討ください。

	がん検診	乳がん・子宮頸がん検診
日にち	12月7日(土)	3月14日(土)
申込み	追加申込みの広 ご案内は、11月 報11月号で行 います。	コールセンターへの 申し込みが必要です。 申込み期間 令和2年2月3日(月) ～2月4日(火) ☎0570 (077) 150 (午前9時～午後5時まで)

健康福祉課 保健師

学校「ナー」

考え・進め・未来へ



五霞中学校

五霞中学校では、九月には三年生の修学旅行、二年生の職場体験学習、そして十一月には、合唱祭・かすみ祭が実施されます。三年生にとっては、修学旅行や合唱祭・かすみ祭が最後の大きな行事になります。忘れられない思い出になることでしょう。

◇三年生最後の合唱祭・かすみ祭

五月の体育祭に引き続き、校内最大のイベントであるかすみ祭、合唱祭が今年も幕を開けようとしています。昨年の合唱祭では、各クラス工夫を重ね、それぞれの魅力が校内に響き、たくさんの感動がありました。今年は、クラスの団結力、魅力を響かせるとともに、クラス全員の想いまで届けられる合唱祭にしたいです。

また、昨年のかすみ祭では、三年生を中心として、様々なパフォーマンスが披露されました。今年も、それぞれの団体が輝けるように、実行委員を中心に、サポートしていきたいと思えます。私たち三年生は、受験前最後のイベントになります。全力で楽しんで、心に残る思い出となるよう、全校生徒と先生たち総勢二〇〇名を作り上げたいと思えます。(写真は昨年の合唱祭の様子)



(写真は昨年の合唱祭の様子)

◇郡新人大会に向けて

私は、柔道の郡新人大会で頑張ることが一つあります。一つ目は試合です。私は無差別級に出場し、体重差がある相手と試合をするので、勝つために毎日休まず部活に参加し、技のレベルを上げたいです。また、団体戦では、メンバーには入れなかった人たちのためにも一勝でも多く勝って優勝したいです。

二つ目は、先輩らしい行動と態度です。新人戦は三年生が引退し、二年生の私たちが一年生に様々なことを教えなければなりません。そのためには、先輩らしい行動と態度で二年生の手本になる必要があります。特に、私は副部長として、部長をフォローしながら部を一つにまとめていく努力をしたいと思います。



◇職場体験から学んだこと

私は、「かつ太郎」で職場体験をしました。二日間の体験から、働くことは楽しいけれど、とても大変なことだということ学びました。特に、ホールスタッフでの接客では、最初は、恥ずかしくてうまく接客できませんでしたが、しかし、お客様からの「がんばってね」という温かい言葉かけや従業員の優しいサポートで、働くことは楽しいことだと感じました。

この経験を、これからの職業選択に生かしていきたいと思えます。



この経験を、これからの職業選択に生かしていきたいと思えます。